

8日告示、15日投票

愛西・北名古屋・清須市議選

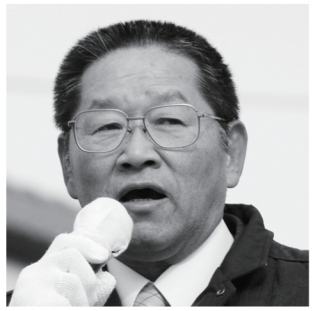
共産党 全員当選めざす
安倍ノーの審判を

8日告示、15日投票で愛西市、北名古屋、清須市の議員選挙がおこなわれます。いずれも、学校法人「森友学園」への国有地格安払い下げをめぐる財務省の公文書改ざんなど安倍政権への国民の怒りが高まる中での選挙です。3市議選での日本共産党勝利は、森友疑惑の真相解明、安倍内閣の総辞職を求める大きな力になります。

市政の逆立ち止す



渡辺まい子北名古屋市議候補



かとう敏彦愛西市議候補



かわぶち康宏北名古屋市議候補



まの和久愛西市議候補



加藤みつのり清須市議候補



河合かつべい愛西市議候補

愛西市議選(定数18)には、日本共産党から、かとう敏彦、まの和久、河合かつべいの3現職が立候補します。定数2減のもと、激戦になる見込みです。

日本共産党は3氏当選で、「安倍政権と市議会のオール与党に厳しい審判を下し、くらし・平和を守ろう」と支持を訴えています。

市政問題では公共施設の統廃合や住民負担増が争点。市は施設使用料の有料化や値上げ、学校教育補助金の削減を強行。市立保育園や小中学校の廃止・統合しようとしています。その一方で、1億円にのぼる基金のため込み、市長報酬の引き上げや市議会議員の公用車購入に550万円を投じようとしています。

北名古屋市議選(定数21)に、日本共産党から現職の渡辺まい子、大原久直市議の後継新人かわぶち康宏の両氏が立候補します。

市議選の大争点は、中学卒業までの子ども医療費無料化。同市の子ども医療費助成制度は、通院では小学生以上は1割負担、入院は中学卒業まで無料ですが、いったん医療機関窓口で3割払い後日払い戻す仕組み。共産党市議団は3月議会で中学卒業までの実施を要求しています。

清須市議選(定数22)には、現職の加藤みつのり氏が立候補。現有1議席の確保をめざします。

加藤議員は、老朽化した清洲小学校の改修や、新清洲保育園の統廃合を中止させ耐震化を実施するなど実績抜群。18歳までの子ども医療費無料化など暮らし・福祉優先の政策を訴えています。



杉山良介津島市長候補

津島市長選 8日告示、15日投開票
共産党 推薦 杉山氏全力

8日告示、15日投票の津島市長選に、津島をよくする会」の杉山良介候補(元津島市議)が共産党推薦・無所属で立候補します。

杉山氏の最大公約は、子ども医療費無料化の中学卒業までの拡大。同市の現行の無料制度は通院小学3年、入院中学卒業まで。小学4年以上の入院は償還払いです。

杉山氏は、市長給与7割カット、退職金全額カットで6052万円を削減。無料化拡大の財源に充てると公約しています。

子ども医療費入通院無料化
「18歳まで」6町村で

子ども医療費無料化の愛知県の補助対象は、通院は義務教育就学前、入院は中学卒業まで。県内54の全市町村で、県の補助対象を上回る助成制度が実施されています。

「2017年愛知自治体キャラバン」の調べによると、通院中学卒業まで無料にしているのは津島、愛西両市を除く52自治体。18歳年度末までの無料化を実施しているのは、東郷、飛島、南知多、設楽、東栄、豊根の6町村。安城市は入院のみ18歳までの無料化を実施しています。

国は子ども医療費無料化を実施する自治体にたいし国民健康保険の国庫負担金を減額するペナルティを科していましたが、未就学児に限り4月から廃止しました。